

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所
【現地駐在】TTB銀行(タイ・バンコク)、HD銀行(ベトナム・ホーチミン)



【タイ】

インバウンドにみる輸出拡大のチャンス

1. はじめに

2023年上半期の訪日タイ人数は49万7700人となり、訪日タイ日本人数32万7041人を初めて上回りました。日本人にとっては円安が海外旅行の向かい風に、タイ人にとっては追い風になったと考えられます。

2023年1月～10月の訪日国別外国人人数では韓国、中国、台湾、香港に次いでタイは5番目(東南アジアでは最多)に位置しており、タイはさらなる経済的な発展と個人所得の増加を背景にインバウンドの観点からますます目の離せない国になっています。

2. 旅行先の変化

タイ人の人気旅行先として上位には東京、大阪の大都市や北海道、そして、富士山を擁する山梨県、静岡県が挙げられます。

しかし、近年その旅行先が多様化し始めており、地方へとタイ人の目が向き始めています。その理由はいくつかありますが、特に周りの友人が行っていない場所に行ってみたいという声をタイ人からは聞きます。

その点から、今後タイ人観光客のさらなる増加が見込まれる中で、地方にもタイ人観光客呼び込みのチャンスが生まれることが期待できます。

3. インバウンドを活用して輸出に繋げる

外国人の来日は日本のモノを見てもらう・体験してもらうきっかけになります。

日本の商材等を海外に輸出して、現地で知名度を上げるには相応の時間・労力・コストがかかります。しかし、日本に旅行に来ている観光客にアクセスして、消費・体験してもらうことができれば、日本国内にいながら外国人へのマーケティングが可能となります。

タイ人は特にFacebook等SNSに熱心で、来日タイ人観光客がSNSで発信した日本のモノはタイ国内で認知度が高まる可能性があります。

タイ全土には5,000店以上の日本食レストランがある等、タイで「日本」は好意的に受け入れられています。一方で、他の国と比較して、数多くの日本のモノが揃っているのに、単に「日本製・日本産品」というだけでは参入が難しい市場となっています。

従って、タイ人観光客にスポットライトを当てて、認知度を高めることができればタイへの輸出拡大の切り口となることが期待できます。

4. おわりに

山口フィナンシャルグループでは海外への事業展開にご興味があるお客様のサポートを行っていますので、お気軽にお取引店または営業戦略部法人事業室海外事業グループまでお問い合わせください。

(タイ駐在員 高木 岳史)

【参考文献】

ArayZ :【タイ】上半期の訪日タイ人 50 万人、訪タイ日本人数を上回る

https://www.wisebk.com/asean_news/230641/

日本政府観光局 :【参考】 2023 年 10 月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対 2022 年比)

https://www.jnto.go.jp/statistics/data/20231115_monthly.pdf

AIS : 1 位は 5 年連続で「富士山」！ 訪日タイ人の人気観光地ランキング 2022 を発表

<https://exptours.net/news/thai-ranking-2022/#:~:text=%E3%82%BF%E3%82%A4%E4%B>